

爽風

神戸市シルバーカレッジ情報誌

2025年12月号 第229号

学園祭 特集



「ナイトハーバー オン アイス」 健康32期 西川 雅祥

2	第30回学園祭
8	教室だより（32期 健康・国際・ECO・美工・音文・園芸）
11	教室だより（32期 食文）・事務局だより
12	2025年度（第30期）グループ学習テーマ
14	トピックス（神戸からの再出発～あなたも能登から?!）
15	イベントだより・文芸サロン
16	グループわ だより・図書室だより・編集後記

神戸市シルバーカレッジ情報誌「爽風」は、カレッジ内の行事・教室だより・サークル活動・トピックスなどを取り上げながら、学生だけの編集により発行しています。「爽風」への情報・ご意見は、次のホームページからお寄せください。

<https://ksc-sofu.net/> スマホでは右のQRコードからご利用できます。



編集・発行 神戸市シルバーカレッジ 情報誌編集委員会

第30回学園祭

学園祭の開催が危ぶまれた時期もありました。しかしグループやボランティア活動の成果発表の場を失いたくないと、7人の有志が立ち上がり、その思いに賛同した委員や支援者が次々と集結しました。例年行われていたバザーや売上金の施設への寄付などは見送られ規模は縮小しましたが、多数の来場者があり、カレッジ生の熱い想いが結実した1日となりました。

開会宣言

総務委員会の釣井委員長より、「ただいまから、神戸市シルバーカレッジ第30回学園祭を開催したいと思います。みんな楽しんでください。よろしく！」との開会宣言で学園祭がはじまりました。



ステージ

25のサークルやクラスが、日ごろの練習の成果を熱氣あふれるステージで披露しました。

KSC人形劇「ゆめ」



「泣いた赤鬼」

KSCマジック同好会



「マジックショー」 5演目

KSCフルートクラブ・フルーツパフェ



「フィンランディア」「君をのせて」「見上げてごらん夜の星を」「もみじ」

KSC謡曲クラブ銀謡会



「敦盛」

手話ソング



「小さな世界」「しあわせのうた」「365歩のマーチ」

KSC太極拳クラブ



「練功18法(続集1~9)」「簡化24式」

KSCライトミュージック・ウィズ・ユウ



「オール・マイ・ラヴィング」
「コーヒーランバ」
「君の瞳に恋してる」

ザ・カスタネット



「大きな古時計」「津軽のふるさと」「スペインのカスタネット」

混声合唱団コーロKSC



「北海盆唄」「君に会えて」「ケヤキ」

アンサンブルKSC



「春に」「涙のトッカータ」
「威風堂々」

KSC男声合唱団



「あの素晴らしい愛をもう一度」
「中国地方の子守歌」
「行け我が想いよ黄金の翼に乗って」

KSC三曲会



「さくらさくら」「花かけ変奏曲」
「秋のうた」

音文3学年合唱

ポコアポコ31



「怪獣のバラード」

ハーモニー32



「恋の季節」「ハーモニー32クラスソング(積水ハウスCM替歌)」

フェルマータ30



「ほらね、」

KSCハーモニカグループ



「イエロー・サブマリン」「青葉の笛」
「赤い靴」「四季の歌」

KSCフォークダンスクラブ



「ツアディック・カタマー」
「アメイジンググレイス」
「グランドスクエア」

KSC社交ダンスクラブ



ジルバ「Can't Buy Me Love」
ワルツ「Poeme」 ルンバ「黒いオルフェ」
タンゴ「Carman」

朗読あかりの会



「気は心」
「エスカレーターに背を向けた男」

KSC オカリナチーム



「しあわせ運べるように」
「真珠採りのタンゴ」「秋の夜半」

KSC オールディーズクラブ



「RAINDROPS KEEP FALLING ON MY HEAD」
「WE ARE THE WORLD」

第30回学園祭

KSC アロハハワイアンズ



「レイナニ」「ウルバラクア」
「ハワイアン・ウェディング・ソング」
「いのちの歌」

KSC フォークソング・クラブ



「岬めぐり」「翼をください」
「恋のバカンス」

ミュジ研



「プラム王子」

KSC 民謡同好会



「ソーラン節」「灘の酒造り祝い唄」
「九州炭坑節」



出店

ふれあいホールやエントランス、2階の学習室では、心のこもった作品やおもてなしに多くの人が立ち寄り盛況でした。

絵画ボランティアグループ



絵画作品の展示・小作品の販売

KSC ボランティアグループ茶道部



お茶席（お菓子付き）

KSC 有機野菜をつくる会



有機野菜（サツマイモなど）
ボカシ肥料などの販売

「ガーデニング」グループ



花の苗の販売

ECOライフコース31期



丹波篠山 黒枝豆の販売

ボランティア木工グループ



木工作品の販売



展示

日頃のクラブ活動の成果をいかんなく発揮した作品が並び、来場者は足を止めて見入っていました。



第30回学園祭



学園祭会場の風景



閉会宣言

総務委員会の谷口委員から、「今年の学園祭は開催そのものが危ぶまれましたが、学園祭に出演、出展された人たちの頑張りや学園祭を支えてくれた皆さんのサポート、そして見に来てくれた多くの方々によって良い学園祭ができました。これをもって閉会いたします。ありがとうございました」と閉会のあいさつがあり、第30回学園祭は幕を閉じました。



写真提供 KSC 写真クラブ

学園祭を終えて

総務委員会

健康31期 柳 佐知子



今年の2月のクラス懇親会で、「学園祭の仕事を手伝って」と誘われたのが始まりでした。今年から学園祭の運営を学生自治会で取り組むことに

なっていたのを忘れていました。軽い気持ちで引き受けました。それが学園祭総務委員会でした。総務委員会での仕事は、皆さんそれぞれにできる分野を担当することになり、私は会計を2人で担当しました。皆さんは所属しているグループ活動を調整し、「忙しい忙しい」と言いながらも学園祭の用事をこなしていました。そんな素晴らしい仲間と一緒に活動させていただきました。私にも一文字幕^(*)の飾りを考えてと言われ、得意な折り紙の花で飾らせていただきました。

32期の皆さん、難しく考えずに気楽に新しいお友達を作る場だと思い、参加してくださいね。

(*) 舞台の最上部に吊られた学園祭の横長の幕

駐車場委員会

美工31期 芳田 實



駐車場委員および支援者は昨年度より15人も少ない人数でしたが、支障もなく無事に終えることができました。準備に時間を掛けた成果であり、経験者がい

らっしゃったことも大きかったです。現役生は学外駐車でしたが、一般来場者も多く、午前10時には満車となり、OBも入れず、学外に駐車した人も多かったです。駐車券および通行券も分かりやすく、混乱はありませんと認識しています。しかし、もっと来場者が増えた際にどう対処するかは今後の課題です。午後2時に駐車場管理を止めたことは逆に良かったと思われます。絵画クラブの例ですが、絵画などを持ち帰るために学内へ終了時間より先に車を移動できたため、短時間でスムーズに後片付けができます。

出店・展示委員会

健康31期 村田 嘉昭

今年の出店・展示委員会の委員のほとんどの方が初めての体験でしたので、どのグループの出店・展示場所をどこに配置し、機材をど



れだけ設置していかなければいけないかを委員会で何度も何度も打ち合わせをして進め、四苦八苦して設置を終え、何とか当日を迎えることができました。

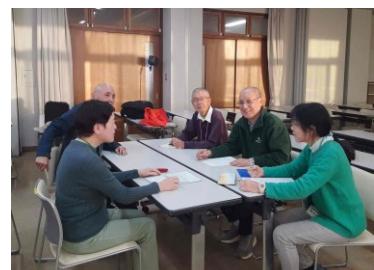
今回は、中庭での出店と食事スペースをエントランスやふれあいホールに移転したため、前年度難儀したテント設置の負担が減りました。各コーナーの設営には各グループからの支援者の手伝いもあり、多少のトラブルはありましたが、想像以上にスムーズに進めることができました。そして学園祭は大いに盛り上がり、あっという間に終了しました。撤収に関してもスムーズに終えることができたので安堵(あんどの)しています。

多くの方々のご支援のもと、終了できたことに感謝します。

ステージ委員会

健康30期 沼田 明夫

ステージ委員会は出演団体から委員を出してもらい、その中から委員長や班長などを選出して構成されました。学生自治会による運営となっても、この体制は従来と変わりませんでした。



出演計画書の提出、委員との調整、リハーサル確認など、これまで培われた手順に沿って準備を進めました。委員長をはじめメンバーの熱意ある取り組みにより、本番では多少のトラブルはありましたが、ほぼ予定通り進行できました。

今回の経験から、過去のノウハウの継承が重要であると改めて感じました。委員会の役員の選出はくじ引きでしたが、今後は経験を考慮する方法も望ましいと思います。

教室だより

健康ライフコース

健康32期 西川 雅祥

今年4月に入学してから、はや半年が過ぎました。入学当初は74人でしたが、家庭の事情などで数人減り、現在は65人です。健康ライフコースは全コースの中で、最も生徒数が多いため8班編成でのクラス運営です。

特に今までの授業で印象に残った例として、アイスブレイキングがあります。これは、集団や小グループで初対面同士の緊張感をなくすために行うグループワーク、レクリエーションを通じて、身も心もほぐす、人と人をつなげる、全体の雰囲気を和やかにするというものです。（写真右→）これでずいぶん和みました。



その他にも、健康診断の検査の見方、生活習慣病予防の食生活、内科の病気、病気と薬の豆知識、音楽と健康、高齢期の食と栄養、ツボ健康法、認知症予防、フレイル

チェック、ポジティブ心理、笑いや感謝の効用、聴覚障害者の理解と手話などを学びました。講師陣は素晴らしい方々ばかりで、どの講義も健康寿命や人と社会とのつながりなどを考える上で役立つものばかりです。

今年のクラスの特徴と言えば、ホームルーム時の事務局連絡事項の後の時間を有効活用するため、「クラスが楽しく親しくするにはどうしたら良いか」、月1回のホームルームがある日の12時30分から班長会で話し合うことにした点です。当面は、自己紹介を全員が3分以内で一通り行います。その後は班長会で班を超えての親睦を深める方法や卒業生からの話、経験や特技、趣味の深掘りなど、今後も話し合うこととしています。

最後に、クラス全員がうきうきして取り組んだ年1回の調理実習の一部を写真で紹介して終わります。



国際交流・協力コース

国際32期 岩佐 哲

4月の入学式で国際32期の亀原さんが新入生代表として「再び学んで 他のために」とあいさつをされ、同期のカレッジ生活がスタートしました。コースでは国際交流、それに関連したボランティアを学んでいます。同期48人で6つの班に分かれ、各班では料理にもこだわる懇親会などで親しくなり、またホームルームでの自己紹介で他班の方々のバックグラウンドが明らかになっています。海外滞在・海外ビジネス経験者、海外でボランティア貢献の人、海外旅行が好きな人、もっと海外を知りたい人、中には臨死体験をした人など、さまざまな経験・期待を持った方々の集まりです。講義を離れても各種クラブ・委員会・ボランティア活動へも熱心で学園生活を謳歌（おうか）されています。



4月以降、いろいろな視点からアジア、オセアニア、中東、アフリカの歴史・現状と課題、さらにはウクライナの現状まで幅

広く講義を受け、留学生とも交流しました。国際交流には英語でのコミュニケーションが必要と思われるかもしれません、そうではなく日本で生活する留学生など外国人の人とどうコミュニケーションを取るか、日本語を教えるかに焦点を当てた講義も興味深く聴講しました。

さらに国際32期クラス委員の尽力で、9月にしあわせの村の研修館で、前田学長にもご臨席いただいたワークショップを開催しました。NASAのシニア研究員（同期の福井さんの兄）をお招きし、宇宙開発での経験談など貴重な話を伺いました。



カレッジ生活はまだ始まったばかりです。国際交流では相手の国・人を理解するにあたり、歴史、政治、文化、生活、日本との関わりなどさまざまなこと、また当然日本のことよく知ることは重要ですので、今後の講義、交流でそれを学んでいきます。

ECOライフコース

ECO32期 松枝 静紀・藤原 桂子

身近な自然に触れる体験として、近畿地方の他の山々と比べて植生が豊かな六甲山へ校外学習に出かけました。秋晴れとなった9月30日に「六甲ビジターセンター」に集合し、現地コーディネーターから主に植物についての説明を受けた後、解散となりました。

その後、私たち3班5人は、この時期に出会える「旅する蝶・アサギマダラ」を探すことになりました。メンバーのひとりがアサギマダラの学術調査員でもあり、その方の提案で、六甲高山植物園や摩耶山天上寺を訪れることにしました。アサギマダラは、気温や食草の開花状況に応じて移動を行い、長年のマーキング調査によって、秋には日本本土から南西諸島・台湾へ渡る個体が多く確認されています。

アサギマダラの幼虫は、毒性の強いアルカロイドを含むキョウ



チクトウ科の植物を食べて育ち、体内に毒を蓄積することで天敵から身を守ります。また、成虫のオスはフジバカマ（秋の七草）などの植物の蜜を吸うことで、ピロリジンアルカロイドを体内に取り込み、フェロモンとして利用します。アサギマダラの鮮やかな色は「警告色」として、毒を持っていることを外敵に知らせているのです。

今回、私たちはアサギマダラを捕まえてマーキングを施し、片手のひらに乗せて掲げました。横になってじっと翅（はね）を閉じていた蝶が、不意にふわりと翅を広げ、一瞬で飛び立ってきました。それがなんとも美しく、愛らしく感じられました。



このような豊かな自然との共生が、いつまでも続いてほしいと願いながら、私たちは日々、できることを模索しながら学びを重ねています。

美術・工芸専攻

美工32期 木村 初美

美工32期は現在33人です。力仕事だけでなく、何かとお助けマンになってくださる男性19人。とても明るく元気な女性14人。男性が多いのは珍しいと聞きましたが、明るくにぎやかな雰囲気で授業を受けています。また、入学してから早い段階でチームワークができたように感じています。

クラスの手始めの共同作業は有志による学園祭の看板作りでした。積極的に手を挙げてくれて、試行錯誤しながらも素敵なアイデアがどんどん出ました。看板が出来上がったとき、チームワークの良さに感動し、充実感を味わうことができました。

普段の授業では、絵画は紙コップのデッサンからはじまり、水彩絵の具で静物画を描きました。瓶の透ける感じ、やかんに当たる光と影、背景の色合いなど、描くことの難しさを噛みしめましたが、同時に描く面白さも学びました。



陶芸はクラスのほとんどが初心者ながら、手びねりのお椀を

作成しました。形をつくり、素焼き、白化粧、絵付け、釉薬掛け（ゆうやくかけ）、本焼きと進んで焼きあがったお椀は出来具合の良さはさておき、各々のセンスが光る作品に仕上がりました。「焼き上がりまでどんな感じになるのかわからないのが陶芸の面白さ」を実感しました。お椀の次はたら皿を作成しています。どんな仕上がりになるかちょっと不安、でも楽しみな気持ちが大きいです。

石ころアートは、石をじっくり見つめ描く絵のイメージを膨らませたら、あとは童心に戻って一気に集中して描きました。

初めての学園祭には絵画と陶芸と石ころアートを展示しました。準備から展示までアイデアと工夫が次々に出てきて、クラスのチームワークの良さが光っていたと思います。

これからも絵画に陶芸に各々切磋琢磨しながら、これまでの自分を超える作品作りに、クラス全員で楽しく励んでいきたいと思います。



音楽文化専攻

音文32期 瀬下 博之

音楽文化の数人にこれまでの感想とこれからの抱負を伺いました。

Aさん …これまで合唱の経験

はなく、授業では当初、緊張していました。しかし、ひとつの曲を複数のパートで分かれて歌うと、そこにハーモニーが生まれ、自分がその中に包まれると非常に感動を覚えました。今後は、自分の声をもう少し豊かで温かみのあるものにしたいです。



Bさん …クラス委員の方々の準備のおかげで非常にクラスになりました。自分たちだけで授業や合唱練習をしていたら、ここまでうまくいかなかったと思います。コーラスは初めてでしたが、今はすっかりハマって好きになっています。テント設営をこれからも、だれひとりカレッジをやめることなく続けていたらいいと思います。卒業まで楽器を使用する機会ができるので楽しみにしています。

Cさん …声を出すことで健康につながると思い、音楽文化を希

望しました。しかし、授業を受けるたび、音楽の知識がないことに悩んでいます。若い時に音楽を学習しておけばよかったと思っていました。クラスの方々は音楽のレベルが高く、熱心な人が多いので、私も成長したいと思い、10月にコーラスに入会しました。



Dさん・音楽の経験はありませんけれど、楽器を個人で習った経験はありました。合唱のように皆で音楽を楽しむのはすごく楽しいです。クラスで音楽を共有できるのがいいと感じました。合唱でうまくハモったときがすごくいいと思いました。これから2年間が楽しみです。



Eさん…軽い気持ちで入学しましたが、授業など忙しくびっくりしています。しかし、日々楽しくやっています。これからもっと歌がうまく歌えるよう頑張ります。

園芸専攻

園芸32期 谷口 真理子

園芸専攻の私たちも入学して初めての秋を迎きました。現在17人のこじんまりしたクラスですが、園芸が好き、園芸に興味があるという人たちが集まっていて、熱心で探求心のある方が多いという印象です。



授業は専門の講師の先生から午前中に講義を受け、午後は先生とサポートの先輩方にもご協力いただき農園・花壇で実習をしています。入学後間もなく、まずは畝作りから学び、ナス・トマト・ピーマン・キュウリ・オクラ・シットウなどを植え付けました。その後のあまりにも暑すぎる夏の水やりや草抜きなどの作業や管理は、体力・気力を要し、くじけそうなときもありましたが、共に頑張っている仲間がいることが心の支えになり、乗り越えることができました。

またスーパーで買う必要がないくらい、たくさんの夏野菜が収穫できたことは大きな喜びであり、酷暑を乗り越える原動力にもなりました。

花壇作りは花の特性と日当たりや雨の影響、水やりの駆け引きに悩み、失敗の連続でした。そんな時にサポートの先輩から「失敗しただけ学びがあるから大丈夫！」と声をかけていただき、救われたこともあります。今後も学びを深める中でいくつかの困難にぶつかることでしょうが、仲間と力を合わせて一粒で二度三度おいしく楽しい園芸を目指していきたいと思います。



食文化専攻

食文32期 大西 農夫明

食文32期は、4～5人の班が8班あり、総勢35人で学んでいます。

学習内容は、楽しみである調理方法を主体として、調理に使う食材の特徴や使い方をベテランの講師の方から教えてもらっています。調理内容は、四季折々の食材を使った季節料理、フランス料理、中華料理、タルトやショーケースなどの洋菓子関係などで、それぞれ1回に4品ぐらいの調理実習を行い、その成果を賞味しながら出来栄えを確認しています。



各班で4品の調理を手分けしながら作りますが、年齢のためか「砂糖入れた?」、「コショウをまだ入れていないのでは?」と調味料など

の入れ忘れが発生し、その都度慌てて入れながらワイワイと楽しく作っています。また、作るのが遅れたり、うまくいかなかつたり

したときは、先生にヘルプを求めたり、先生が「これはダメだ」と思われた場合は、手伝ってもらうこともあります。

調理実習の楽しみは、作った料理を皆で「味加減はいいね」とか、「少し味が薄いかな?」などと評価しながらいただくことです。また、調理で苦労することは、時間内に作ることと、焼き加減や少々といった調味料の入れ具合で味が濃くなったり薄くなったりすることです。グループ内で「味はどう?」と確認しながら調整するのですが、つい「いいんじゃない…」と大ざっぱになる傾向があります。そして、教えてもらったことを、「これは孫にも食べさせることができるな…」とか、「家で簡単に作れそう」と言しながら家で復習をする人もいます。



調理学習の1年の成果として、来年の3月には自分たちでメニューを考えて作る課題を与えられていますので、今から何を作ろうかと皆で思案しながら実習に励んでいます。

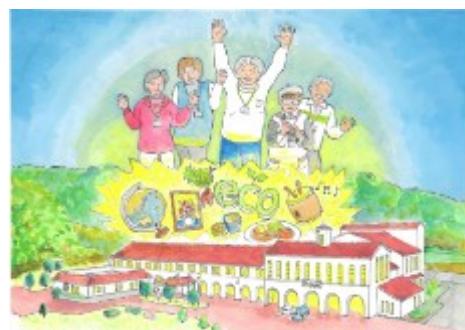
事務局だより

◆学生募集広報デザインの採用投票の結果

学生の皆さんを対象とした「学生募集広報デザイン公募」は545票の投票がありました。投票結果は次のとおりとなりました。

採用された金沢さん、浅井さん、おめでとうございます。この2作品は学生募集のチラシおよび広報に使わせていただきます。

応募していただきました皆さん、また投票していただいた皆さん、ご協力ありがとうございました。



【絵画部門】 美工31期 金沢 英昌

◆令和8年度学生募集要項

【出願期間】 令和8年1月19日(月)～30日(金)

【募集要項】 11月下旬からカレッジや区役所窓口で配布、HPでも掲載

【学校説明会】 1月20日(火)・21日(水)・22日(木)

★在校生の皆さまの紹介は、一番広報効果があります。

お近くにカレッジに興味がある方がいらっしゃいましたら、ぜひお知らせください。



【写真部門】 国際31期 浅井 富美

コース 専攻	健康 ライフ	国際交流 ・協力	ECO ライフ	総合芸術				合計
				美術・工芸	音楽文化	園芸	食文化	
定員(人)	100	100	100	35	35	35	35	440

※各コース・専攻とも再入学枠5人を含みます。

2025年度(第30期生)グループ学習テーマ

30期の皆さん、学生生活の集大成として下記のテーマでグループ学習に取り組んでいます。

健康ライフコース

	グループ名	学習のテーマ	リーダー	人数
1	きずな	健康寿命と生きがい（生きがいのある健康寿命の維持、増進を図る）	花本 孝	4
2	ゆるり寺社めぐり	神社仏閣めぐりが、心身の健康にどのように影響しているのかを探る	松本 啓二	12
3	元気 UP♪ 未来たのしみ隊	未来の自分探し～これから始めるチャレンジ～	吾郷 信幸	9
4	お風呂で長寿	お風呂で健康～自分に合った入浴法の見直し～	松田 秀一	8
5	シルバーウエルネス5	卒業後も健康で豊かな生活を送るために方策の検討と実践	池田 辰弥	5
6	チーム北前船 順風満帆	北前船の商業活動によって、経済・食文化・風習・芸能など、各地、各方面にもたらしたものを探る	杉本 康彰	7
7	Laugh Nonet (笑いと音楽の九重奏)	笑いと音楽は心と身体の命薬（ぬちぐすい）	沼田 明夫	9
8	Enjoy Life (エンジョイ ライフ)	輝く100歳へ 筋活（筋力強化）と食事改善でフレイルを乗りこえよう—鎌田式をベースに—	山田 傑	6

国際交流・協力コース

	グループ名	学習のテーマ	リーダー	人数
1	スペイン探検隊	スペインに学ぶ	堀口 彰	5
2	チーム韓国	少子高齢化と首都圏一極集中で『どうなる韓国』	大田 正和	7
3	本当のラストサムライ	慶應4年神戸事件を考える	深田 篤	5
4	Bula フィジー	海面上昇危機 どうするフィジー	橋倉 正司	6
5	Team いい You だな	『内外温泉文化の違いを理解する』 -外国人の入浴習慣と温泉イメージ-	小島 賢司	7
6	ドライブもんワールド探検隊	未来社会での幸せな生き方を探ろう ～ムーアン谷の住人は、未来社会でどんな生き方をするのか～	稻積 義則	7
7	マリンロード	海のシルクロードを介した東西交流の歴史 (列強に負けなかった日本)	竹田 正俊	5
8	サラダボウル KOBE	日本の多文化共生社会について考える 「共に学び、共に創る、多文化共生の未来」	寺沢 優一	8
9	温故知新	現代に生きる中国文化	平山 重光	7

生活環境コース

	グループ名	学習のテーマ	リーダー	人数
1	Make the Earth Great Again	新たなサンゴ礁の可能性について	松本 高志	4
2	I&YOU インフィニティ	衣類の未来	吉田 良子	3
3	フローパス	河川の流路変遷と生活環境について	井上 薫	4
4	「ウミガメ物語」タートル7	絶滅危惧のアカウミガメから環境問題を探る	川口 年秋	7

	グループ名	学習のテーマ	リーダー	人数
5	すずめのお宿	竹林の整備および竹材の利用推進について	加藤 尚子	4
6	ヤングシルバー五人衆	SAF (Sustainable Aviation Fuel) を中心に将来性／我々のできることを学ぶ	後藤 昭二	5
7	SD ジーンズ	デニムのサステナビリティ	長田 方宏	4

総合芸術コース 美術工芸専攻

	グループ名	学習のテーマ	リーダー	人数
1	還元焼成～その不思議と魅力	還元焼成と酸化焼成の釉薬の変化	長谷川 忠志	5
2	WE ♡ ZOGAN	装飾技法の1つである象嵌技法について学び、様々な象嵌技法による作品作りを実施する	前田 龍夫	5
3	HAPPY SOUND (ハッピー サウンド) 陶芸工房	音の出る陶器作品を作ろう	江崎 登夫	8
4	Team 釉々	釉薬による様々な模様作り	山形 裕士	6
5	Camarade(カマラッド)	六古窯（越前焼、瀬戸焼、常滑焼、信楽焼、丹波焼、備前焼）の陶器をシルバーカレッジの窯で焼いてみる	内田 裕幸	5
6	陶板夢工房	「あわせの村」へ陶芸作品を設置する（村内へ陶芸作品を設置・寄贈し来訪者へ長く親しんで頂く）	米谷 武芳	4

総合芸術コース 音楽文化専攻

	グループ名	学習のテーマ	リーダー	人数
1	合唱 「フェルマータ30」	「Greetings」「若い広場」「ユー・レイズ・ミー・アップ」	中里 秀博 中野 里美	30
2	和太鼓グループ 「喜響」	「寒椿」	佐々木 保磨 田中 初恵	13
3	パーカッショングループ 「Percussive Journey 30」	①「Around The World (Begin)」 ②「Hand Clap & Vocalise」 ③「Turkish March」 ④「La Cucaracha」 ⑤「さくらさくら」 ⑥「Around The World (Samba)」	笠谷 義則 櫻井 昭男	17

総合芸術コース 園芸専攻

	グループ名	学習のテーマ	リーダー	人数
1	メロン研究栽培 30期1班	うまいメロンをたくさん食べたい！	橋本 浩治	10
2	小玉スイカ研究栽培 30期2班	「小さな甘さの冒険」鞍つきと普通栽培の比較	鳶津 進	9
3	ジャガイモ研究栽培 30期3班	各色マルチングシートの違いによる光透過率の異なりでどのような影響が出るかを調査する	堀江 正一	6

総合芸術コース 食文化専攻

	グループ名	学習のテーマ	リーダー	人数
1	すぱいす11	カレー粉を和食に活用する意義と価値を再検証し、魅力的な食生活の実践例を紹介する	田口 和伸	11
2	和食をつなぐ	和食の魅力をSDGsで未来の食文化につなぐ	小牧 泰喜	14
3	三羽の燕	「食べることは生きること」 食文化の一つとして嚥下食を考える	齊藤 英司	3

神戸からの再出発～あなたも能登から?!～



2024年1月の能登半島地震で被災（自宅は全壊）し、神戸に移住したお二人が、今年、シルバーカレッジに入学されました。ふとしたきっかけで被災者同士だと知ることとなりました。奇遇な出会いのお二人に、神戸での生活やシルバーカレッジでの学びについて伺いました。

（敬称略）

（右）健康32期 林 千鶴子さん（石川県輪島市出身）

（左）園芸32期 濱野 智子さん（石川県珠洲市出身）

被災時の状況と神戸への移住を決めた理由

濱野 ……子どもや孫、9人が帰省してお正月を祝っていたところ、タンスや花瓶が飛ぶような激しい横揺れがきました。なんか外に出ると、津波が来るというので、そのまま高台に避難しました。

林 ……私の自宅は輪島朝市に近いところです。前年の10月に母が亡くなり、1人でのお正月でした。地震の直後に津波警報が出たので山に避難したのですが、そこからは輪島朝市が火に包まれているのが見えました。

濱野 ……神戸に来たのは、娘が神戸に住んでいたからで、とりあえず娘のところに身を寄せることにしました。

林 ……母の介護のため、10年前に実家がある輪島に戻りましたが、それまでは神戸に住んでいました。昔からの友だちも多かったので、神戸以外に住むことは考えられませんでした。

シルバーカレッジに入学したきっかけ

濱野 ……今年1月、しあわせの村で孫のテニスの試合があって、応援しに来たときに偶然シルバーカレッジのパンフレットを見て、「ここに入学しよう」と決めました。

林 ……神戸にいた時、仕事の関係でしあわせの村にはよく来ていたので、シルバーカレッジのことは知っていました。神戸に帰ってきて、家にこもっていてはダメだと思い、申し込みました。

お互い「被災者」だと分かった時的心境

林 ……5月に太極拳クラブに入って（濱野さんも同時期に入会）、あまり話す機会がなかったのですが、たまたま9月にバス停に向かっていたときの何気ない会話で濱野さんが被災者と分かり、本当にうれしかったです。

濱野 ……それまでは、私ひとりだけと思っていたので、まさかこんな所で出会うなんて、うれしかったです。

石川と神戸での生活の違い

濱野 ……まず感じたのは、移動手段の多さと安い運賃です。それと、神戸ではすぐ近くで何でも揃うことです。仕事も見つかり、毎日ハリがあり充実しています。

林 ……神戸の友だちが以前と変わらず付き合ってくれることがあります。それと、晴れの日が多いこと。石川では雨が降っていなかつたら「晴れ」というくらいに鉛色の景色の日が多いので、神戸は晴れが多くて気持ちがいいです。

濱野・林 …洗濯物がよく乾くのがうれしいです。

サークル活動やシルバーカレッジでの学び

林 ……新しい出会いがあり、刺激を受けて楽しんでいます。

濱野 …いろいろなことを教えてもらっています。することがいっぱいあり、朝にその日1日の予定を確認するのが楽しいです。

シルバーカレッジの学生さんは積極的ですね。また、男性は紳士的な方が多いように思います。

週2回の太極拳クラブで体幹を鍛えていますが、覚えるのに時間がかかるで困っています。



被災地への思いと将来に向けて

濱野 … 石川の姉や妹、親戚のことを考えると、「私だけこんなに楽しい生活をして良いのだろうか」と思いながら過ごしています。

林 ……故郷に残っている妹弟、友だちなどに、自分だけ幸せに暮らしていることを引け目に感じます。でも、自分の人生だから前向きに、神戸で生きていこうと思っています。

濱野 … 私も残り少ない人生を楽しく、新しいことに挑戦していこうと思っています。もちろん、神戸で。

インタビューを終えて

お二人とも、さまざまな思いを抱えながらも、これから的人生を前向きに精一杯楽しもうとしています。「神戸に来たこと、シルバーカレッジで学ぶことが本当に楽しい」と、インタビュー中に何度も口にされていたのが印象的でした。

イベントだより

KSC写真クラブ

第24回 クラブ展

- 開催日：2026.2.9～2026.2.15
- 開催場所：新長田合同庁舎展示ギャラリー
- 写真クラブは①撮影の基礎を学び、②実際にいろいろな条件で撮影し、③出来上がった写真を客観的に評価する（互選会）、が主たる活動です。このサイクルを1年で数回実施し、その集大成としてクラブ展があります。クラブ展では大きなサイズの写真も飾ります。皆さまのご来場をお待ちしております。
- 入場無料

新しい音楽祭を作る会

第3回 KSC Happy Concert

- 開催日：2026.1.24(土)
- 開催時間：12:30～16:30
- 開催場所：たんぽぽの家 多目的ホール
- クラブ協議会のサークルは、大きなイベントが学園祭しかないため、3年前に音楽系サークルの有志が、『新しい音楽祭を作る会』を設立し、学生の自主運営による『KSC Happy concert』を立ち上げました。

今回で3回目を迎える音楽イベントです。前回は7団体が参加しました。

- 入場無料
- 問い合わせ：(国際30期 伊賀 元俊
ayumioya2@gmail.com)

第2回KSC音楽祭

- 開催日時：2026.2.7(土)
- 開催時間：11時～16時 時間は若干変更する場合があります。
- 開催場所：垂水区文化センター「レバンテホール」
垂水駅東口徒歩2分
- 神戸シルバーカレッジの現役生、OBによる音楽フェスティバルです。KSCのさまざまな音楽系クラブやOBによるコーラス・軽音楽に加え、プロのミュージシャンを特別ゲストに迎えて楽しいひとときを。年が明けてプログラムができましたら、事務所コピー機横またはクラブ掲示板（事務所の横）に掲示する予定です。乞うご期待！
- 入場無料

文芸サロン

文芸サロンへの投稿や
ご意見・ご感想はこち
らから



粹寒に耐えれば
萬博のこと極めつくした江戸時代
のレガシイ、まだ癒やしもあり
に忍耐旨味を纏う冬野菜
博の忍耐旨味を纏う冬野菜

金宮池
近島田山山
森本きく美美一
土屋由峰峰
本峰峰

〔応募作品〕

恐縮ながら銀杏撒きし嵐去り
ろしきりの一句捻るは風呂の中
ケを一口ほおばり顔うかび
がヒトに牙をむき
がヒトに牙をむき

経塚右右明明濱濱
塚立立石石田田
戸島シシゼ利利樂樂
島シゼ利利樂樂

皆再入学学ぶ心は錦なり
悔やむ日び連れていれば妻と並び見る
孫運動会別れし妻と並び見る
平等懸命生きて土(ど)に帰る
セルフレジ人は機械にあしらわれる
乳子包む母の優しさ笑みかける
紫陽花の花水面に映り鯉ふくん
ごゆるりとされよと言われ屁がひとつ
A E D習得し機会来るなど
パンだこが当然だった昭和の世

笠佐中石川野山岩本谷
大高井早貴代成英
奥繁茂牧代和裕
山峰峰

〔俳句クラブ〕

新米を届くる伯父の皺の笑み
衣替え断捨離せむと意気込みて
幾人の友が昇りし秋の空
放棄地の散らばる郷や今年米
こたないと伯父の口癖魂祭
しんこきゅう深呼吸して秋の空

名月や沖待ちしたる貨物船
に置く塾の自転車晩夏光
和野へと汽笛響くや星月夜
雜に置く塾の自転車晩夏光
衣替え断捨離せむと意気込みて

グループわ だより

わくわくひろば

10月5日あいな里山公園で「わくわくひろば」を開催しました。



た。雨 模
様の 中、
午後には
約30人の

子どもたちが参加し、「ハロウィンファッショショ」や「こま回し」など多彩な遊びを楽しみました。笑顔と歓声があふれ、参加者とスタッフが一体となって盛り上がる1日となりました。

第30回学園祭



10月11日
の「第30回学
園祭」では、グ
ループわ がふ

れあいホールの展示パネルで活動内容を紹介しました。2階特設展示では、夏休み工作塾の作品や「花実の森」のどんぐり・小枝で作った昆虫模型などを展示し、一部をおみやげとして配布。来場者に笑顔が広がりました。

カブトムシ観察会(3回目)

10月25日、第3回カブトムシ観察会を開催しました。

10家族29人が参加してカブトムシの一生の説明や幼虫



探し、観察、木
工作りなど4つ
のプログラムを体
験しました。子ど

もたちは夢中で17匹の幼虫を発見し、最後は個性豊かなカブトムシの木工作品を完成。神戸常磐大学の学生も加わり、にぎやかな学びの時間となりました。

図書室だより

図書委員は当番の日には9時半に入室し、机の清掃や新聞紙のバインダー留めなどの準備をしています。図書当番が在席していても、準備中に行うと手違いが起こりやすいので、貸し出しや返却は10時になるまでお待ちください。

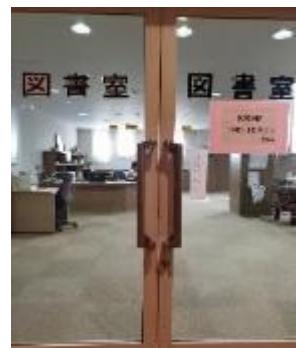
この時期になるとグループ学習のまとめのため、過去の学習資料を閲覧される機会も増えてくると思います。

コピーが必要な資料で「禁帶出」の赤ラベルが貼ってある本は貸し出しカウンターの「一時持ち出しファイル」に登録すれば事務局でコピーすることができます。図書委員までお申し出ください。

読んでみたい本が図書室にない場合は「図書購入申請書」に記入のうえ、遠慮なくお申込みください。

事務局での審査の後、購入になります。ただし文庫本は対象外です。

本が届くと申請者は10日間の優先権があります。早めの借り出しをお願いします。返却後は「新着図書コーナー」に並べています。



編集後記

◆12月号では、学園祭を特集しました。本文でもたびたび触れていますが、今年の学園祭は「開催危機」からのスタートでした。サークルの中には、学園祭での発表を目標に活動しているところもあります。私たちが入校する以前は、ジョイラックデイで発表の機会があったと聞きますが、現在は校外行事に変わりました。もし学園祭でなくなれば、校内での発表の場が失われてしまいます。そうした危機感や、29回続けてきた学園祭を絶やしたくないという思いが、開催成功への原動力になったのだと思います。学園祭学生自治会の委員のみなさん、支援者のみなさん、本当にお疲れさまでした。

◆情報誌編集委員会からのお知らせです。情報誌『爽風』は、年間5回の発行を4回に変更し、春・夏・秋・冬の季刊となります。6月号の編集後記でも書きましたが、情報のデジタル化や学生の高齢化が進むなか、学生の負担軽減を目的とした対応です。編集委員会では、校正でのAI活用や編集会議の効率化など、工夫を重ねてきました。また、読みたくなる『爽風』の誌面作りを目指し、新しい企画にも取り組んでいます。担当年次が代わっても、こうした摸索はこれからも続いているのだろうと思っています。

情報誌編集委員会